

ごみステーションのカラス被害対策ガイドブック

# きれいな芦屋のまちなみのために

～私たちにできること～



平成27年3月

芦屋市

芦屋市カラス被害対策検討委員会

## はじめに

カラスによるごみステーションのごみ荒らしがなくなりません。カラスがごみを食い散らかし、ごみが散乱している光景は芦屋のイメージダウンになります。きれいな芦屋のまちなみを守るために、私たちにできることはなんでしょうか。

私たち地域の自治会代表などが集まり「芦屋市カラス被害対策検討委員会」を結成し、次の4つの内容について話し合いました。

- カラスのことをよく知ろう
- カラスにごみを荒らされない基本を確認しよう
- カラス除けネットの使用方法を確認しよう
- 自治会・町内会の取り組みに学ぼう

この度、「ごみステーションのカラス被害対策ガイドブック」を作成しました。このガイドブックを各地域で積極的に活用していただき、ごみが散乱しない、清潔で快適なまちをみんなで作っていきましょう。

### 芦屋市カラス被害対策検討委員会

#### メンバー

- ・市民公募委員
  - ・西芦屋町町内会会長
  - ・春日町自治会長
  - ・呉川町町内会会長
  - ・川西町自治会長
  - ・若葉町公社住宅自治会会長
  - ・ごみ収集事業者代表
  - ・市職員
  - ・アドバイザー
- 総勢9名

## 目 次

カラスのことをよく知ろう .....	1
カラスにごみを荒らされない基本を確認しよう.....	3
カラス除けネットの使用方法を確認しよう.....	5
自治会・町内会の取り組みに学ぼう .....	7
カラス対策Q&A.....	8



# カラスのことをよく知ろう



カラスくん、何故、生ごみを荒らすの？

ぼくたちは雑食性で、本来、木の実や小動物、動物の死骸、他の鳥の卵やヒナなどを食べるんだけど、市街地には好物の脂肪分や生ごみがたくさんあるからだよ。



そうなんだ。カラスくんのこと、もっと知りたいな。

市街地でよく見かけるのは、下記の2種類だよ。主に生ごみを荒らしているのはハシブトガラスだよ。



ごみ荒しの  
代表選手  
ハシブトガラス

			
		ハシブトガラス	ハシボソガラス
特徴	全長 体重 外見	約56cm 550~750g くちばしが太く、額がでっぱりみえる	約50cm 320~690g くちばしが細く、額がなだらかにみえる
鳴き声		カーカーと澄んだ声	ガーガーと濁った声
行動	移動方法 夜の休憩 居る場所	跳ねることが多い 集団でねぐらに集まる 樹上にいることが多い	2足で歩くことが多い 集団でねぐらに集まる よく地上に下りる
生息環境		茂った樹林地 近年都会に増えている	草原、農耕地、河原
食性	特徴 好むもの	雑食 樹木の種子、肉類	雑食 農作物、コガネムシなどの昆虫



## カラスの特性

### ◎目が良い

カラスの目は、人間の5倍程度良く見えますが、鼻は余り利かず、近くの物の匂いしか分かりません。おもに視覚でエサを探します。

### ◎頭が良い

カラスは、記憶力と学習能力が高いことで知られています。エサがある場所を何十か所も覚えています。生ごみを簡単にとることができるごみステーションはカラスにとっては格好のエサ場です。



## 繁殖

繁殖期は、3月下旬から6月頃までです。街路樹、公園・学校や庭木の高木などに巣を作ります。1度に生む卵は、3～5個で、18～20日でふ化し、ヒナは6月前後に巣立ちます。この時期は、卵やヒナを守るために、人を威嚇・攻撃することがあるので、傘をさすなど自衛したり、巣の近くを避けるなど、カラスたちを刺激しないようにしてください。



## コラム

### なぜ市街地に増えたのか

#### ○市街地はエサの宝庫

市街地の生ごみは自然界のエサの量と比べて5倍、カラスが好む脂肪分は2倍といわれています。カラスにとって、市街地はまさに手軽にエサを入手できる宝庫です。

#### ○住みやすい市街地

カラスは街路樹や電柱などの立体的構造物を、本来の生息地である森林のように認識しており、市街地はカラスにとって住みよい環境になっており、市街地の環境に順応しながら増加してきたと考えられます。

## カラスにごみを荒らされない基本を確認しよう



カラスくん、  
どうしたらごみ荒らしをやめてくれるのかなあ。

市街地には、たくさんの生ごみがあり、  
手軽に手に入るからやめられないよ。



そうか。  
やめてもらうには、生ごみを減らすことやごみの出し方、ごみ出しマナーの徹底など、地域に合わせたきめ細かな工夫をすることが必要なんだ。工夫することで、ごみの散乱を防止するだけでなく、長期的にはカラスの増加を抑えることになるんだね。



### 生ごみを減らしましょう

料理を作り過ぎない、食べ残しをしないなど  
エサとなる生ごみや残飯を減らす工夫をしましょう。



### ごみ出しマナーを守りましょう

ごみ出しは、地域ごとに決められた日時、決められた方法で、  
決められたごみステーションに出しましょう。

ごみステーションの維持管理は、それぞれの地域の皆さんです。  
清潔なごみステーションを維持管理するためにも、他の地域のごみステーションに  
ごみを出さないなどごみ出しマナーを守りましょう。



### 生ごみが見えないようにしましょう

生ごみは、ごみ袋の真ん中に入れるなどカラスが見つけにくいようにすると被害を  
減らせます。



## 動物へのエサやりをやめましょう



(出典：環境庁自然保護局＝都会のカラス＝)

公園などでハトなどの動物にエサを与える光景がよく見受けられます。これらの動物に混ざってエサを食べているカラスを見かけます。

カラスはエサやりをすることで、人は食べ物を与えるものだと思い、人を恐れなくなり、ごみを荒らしているカラスを追い払おうとしても、逃げなくなります。

いくらごみ出しマナーを守っても、エサやりをすれば、カラスの被害はなくなりません。また、屋外でのペットへのエサやりは、エサが残らないようにしましょう。



## カラス除けネットでごみを覆いましょう

- ・ ネットの網目は、カラスのくちばしが通らない程度の細かいものを使いましょう。
- ・ ネットは、ごみ袋がはみ出さないようにごみ袋全体を包み込むように覆いましょう。
- ・ 鎖などでおもりをつけると、ネットが風などでめくれたり、カラスがくちばしでネットを持ち上げることを防ぐことができます。

※カラス除けネット等は、ごみ収集後に地域の環境に配慮し、各自が意識をもって必ず片づけるようにしましょう。

### コラム

インターネットで「カラス対策」、「カラスネット」、「ごみネット」で検索すると、おもり 錘がついたものやカラスが嫌がる特殊な薬品が含まれたカラスネットなど様々な工夫されたものが紹介されていますので参考にしてください。

カラス対策として、ペール缶やごみBOX等を使用される場合、通行の妨げにならないスペースがあることやごみ収集後に片づけることなど一定の条件が必要です。使用を検討される場合は、事前に収集事業課(22-2155)に相談してください。

## カラス除けネットの使用方法を確認しよう

ほくがごみステーションに近づけないように、多くの  
ごみステーションでカラス除けネットが使用されて  
いるけど、その多くは、

- ネットにすき間がある
- ネットからごみ袋がはみ出ている
- ネットの外にごみ袋を置いている

だから、ネットが使用されていても、簡単に生ごみ  
を取ることができるんだよ。



そうか。

やめてもらうには、生ごみを減らすことやごみの出し方、ごみ出しマ  
ナーの徹底など、地域に合わせたきめ細かな工夫をすることが必要な  
んだ。工夫することで、ごみの散乱を防止するだけでなく、長期的に  
はカラスの増加を抑えることになるんだね。



### 良い事例



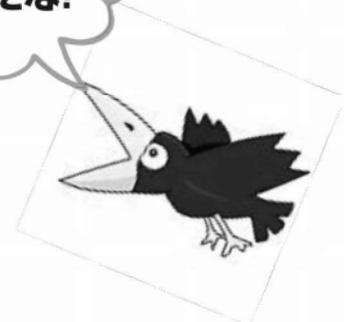
ごみ袋の量に応じた大きさのネットを使用し  
ています。ごみ袋を包み込むようにしているので、  
カラスに荒らされていません。

#### ネットの大きさの目安

45ℓのごみ袋約10袋の場合、2m×3mのネット  
45ℓのごみ袋約20袋の場合、3m×4mのネット



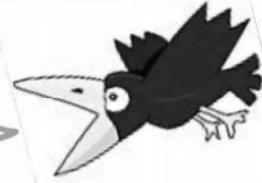
これは  
困ったな!





## 悪い事例

このままだと  
うれしいな!



ネットの下から、ごみ袋の一部がはみ出た状態です。

### 【改善策】

ごみ袋をネットの中に入れ、ごみ袋全体をネットで覆いましょう。



ごみ袋の上に、ネットが置かれた状態です。これでは、ネットの効果は発揮できません。

### 【改善策】

ごみ袋の量に応じた大きさのネットを使用し、ごみ袋全体をネットで覆いましょう。

ごみ量が多い場合は、ごみの山を2つに分けてそれぞれネットで覆いましょう。



ネットの外にごみ袋が置かれていたため、カラスに荒らされています。

### 【改善策】

ごみ袋をネットの中に入れ、ごみ袋全体をネットで覆いましょう。



ごみ箱の蓋がきちっと閉じられていなかったため、ごみが荒らされたものです。

### 【改善策】

ごみは容器に入る量にして、きちんと蓋をしましょう。

## 自治会・町内会の取り組みに学ぼう

ごみ荒し被害を防ぐため、独自のごみ出しルールを決めたり、カラス除けネット以外の方法で取り組んでいる自治会や町内会などがあるよ。

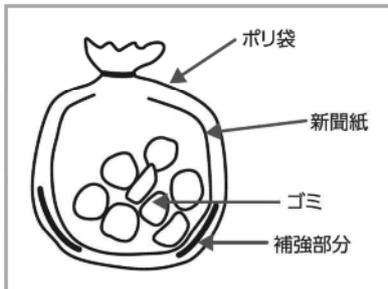


ここでは、自治会や町内会などで取り組まれている事例を紹介します。

紹介された町内には、エサがないから行かないよ。



### 西芦屋町町内会



- ①ポリ袋に新聞紙・折り込み広告などで中身が見えないように、目隠しをした上でゴミを入れる。ごみ袋の底部を食いちぎる傾向がありますので、新聞紙、チラシなどで補強します。
  - ②ポリ袋の中の空気を抜いて。閉じ口が容易に開かないようにしておく。
  - ③交通の妨げ防止のため、ごみ袋を側溝に沿って1列に並べます。
- このように、ごみの出し方に工夫を加えることを班長会で決定し、地域の皆様に協力していただいています。



### 春日町自治会

春日公園に設置された屑かごのごみをカラスが荒らすため、カラスネットを側壁に固定し動かないように取り付けて覆いました。それを取り付けた後は、カラスは全く寄りつかず、カラスを見かけなくなっています。



### 三条町自治会・大原町自治会

三条町、大原町の自治会では、ごみステーションを清潔に保つため「ごみ収集の曜日・時間を守りましょう。前日・深夜・早朝(午前6時前)にごみは出さない、指定されたごみ以外のごみは出さないでください」など「ごみの出し方についてのお願い」チラシを作成し、ごみステーションに掲示し、地域のかたに協力を呼びかけています。

## カラス対策 Q&A

### Q カラス対策には、黄色が効果的と聞いたのですが？

A カラスは、黄色が苦手ではありません。カラスは人には見えない紫外線が見えます。

このことから、東京都で、紫外線をカットする特殊な塗料が入った黄色いごみ袋を使用したところ、ごみ袋の中身が見えず、カラス対策として効果がありました。このことが、マスコミに大きく取り上げられ、黄色がカラスに効果があると誤解をされたようです。

**ごみ袋の色に関係なく、生ごみが見えないようにすること。また、カラス除けネットでごみ袋を完全に覆うなど、カラスが生ごみに容易に近づけないようにすることが、カラス対策のポイントです。**

### Q カラスは頭が良いと聞きました。どのように良いのですか？

A カラスの頭の良さの一つに、記憶力の良さがあげられます。

このことは、ハシブトガラスの特徴でもある“貯食”<sup>ちほじよく</sup>にみることができます。貯食とは、食べ物が多い時に余った分を自分の隠し場所に隠しておき、冬など食べ物が少ない時に取り出して食べるというものです。

記憶力の優れたカラスは、隠しておいた食べ物を取り出して生き延び、そのことが何世代にも渡って行われたことで、カラスはすぐれた記憶力を手に入れたといわれています。カラスは、エサのある場所を何十か所も覚えており、一度荒らされたごみステーションは、何度も荒らされることとなります。

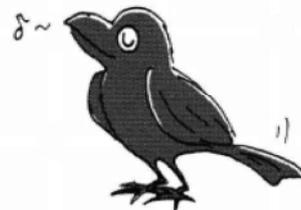
### Q カラスが嫌がる臭いや嫌いな音を出すような対策グッズがありますが、効果はありますか？

A カラスが嫌がる臭いや音があるとされ、様々な対策グッズが市販されています。

一定の効果があるようですが、そのものに慣れてしまったり、お腹が減っていたら関係なくごみを荒らすようになります。カラス除けネットを使用するなど、カラスがごみに近づけないようにすることが必要です。

### Q カラスの好物は何ですか？

A カラスは、基本的には何でも食べる雑食性です。特に、肉類、卵などの脂肪分の多いものが好物です。カラスに見つけられないように、ごみ袋の真ん中に入れてください。



編集・発行

## 芦屋市

芦屋市カラス被害対策検討委員会

事務局：芦屋市市民生活部収集事業課

〒659-0032 芦屋市浜風町31番1号

芦屋市環境処理センター内

電話：0797-22-2155